(19) 世界知的所有権機関 国際事務局



(43) 国際公開日 2004年10月21日(21.10.2004)

PCT

(10) 国際公開番号 WO 2004/090882

(51) 国際特許分類7:

G11B 7/24

(21) 国際出願番号:

PCT/JP2004/004778

(22) 国際出願日:

2004年4月1日(01.04.2004)

(25) 国際出願の言語:

日本語

(26) 国際公開の言語:

日本語

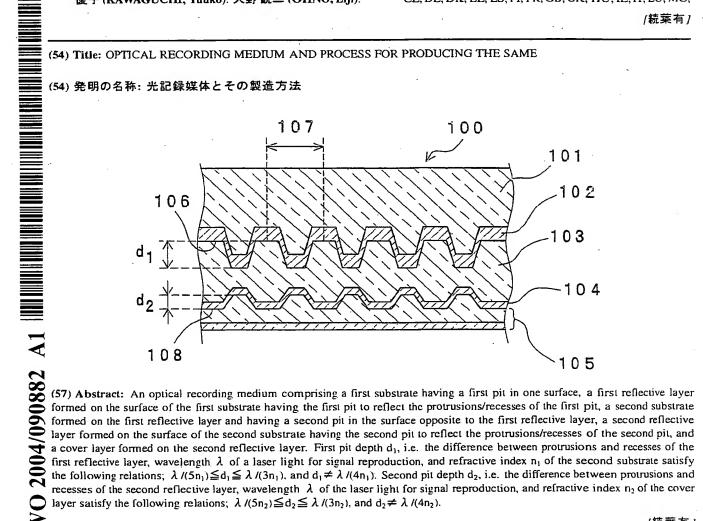
(30) 優先権データ:

特願2003-101160 2003 年4 月4 日 (04.04.2003)

- (71) 出願人(米国を除く全ての指定国について): 松下電 器産業株式会社 (MATSUSHITA ELECTRIC INDUS-TRIAL CO., LTD.) [JP/JP]; 〒5718501 大阪府門真市大 字門真1006番地 Osaka (JP).
- (72) 発明者; および
- (75) 発明者/出願人 (米国についてのみ): 富山 盛央 (TOMIYAMA, Morio). 阿部 伸也 (ABE, Shinya). 川口 優子 (KAWAGUCHI, Yuuko). 大野 鋭二 (OHNO, Eiji).

- (74) 代理人: 河宮治, 外(KAWAMIYA, Osamu et al.); 〒 5400001 大阪府大阪市中央区城 見 1 丁目 3 番 7 号 IMPビル 青山特許事務所 Osaka (JP).
- (81) 指定国(表示のない限り、全ての種類の国内保護が 可能): AE, AG, AL, AM, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, HR, HU, ID, IL, IN, IS, JP, KE, KG, KP, KR, KZ, LC, LK, LR, LS, LT, LU, LV, MA, MD, MG, MK, MN, MW, MX, MZ, NA, NI, NO, NZ, OM, PG, PH, PL, PT, RO, RU, SC, SD, SE, SG, SK, SL, SY, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VC, VN, YU, ZA, ZM, ZW.
- (84) 指定国(表示のない限り、全ての種類の広域保護が 可能): ARIPO (BW, GH, GM, KE, LS, MW, MZ, SD, SL, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーラシア (AM, AZ, BY, KG, KZ, MD, RU, TJ, TM), ヨーロッパ (AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HU, IE, IT, LU, MC,

/続葉有/



layer satisfy the following relations; $\lambda / (5n_2) \le d_2 \le \lambda / (3n_2)$, and $d_2 \ne \lambda / (4n_2)$.

/続葉有/

NL, PL, PT, RO, SE, SI, SK, TR), OAPI (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, ML, MR, NE, SN, TD, TG).

添付公開書類:

一 国際調査報告書

2文字コード及び他の略語については、 定期発行される 各*PCT*ガゼットの巻頭に掲載されている「コードと略語 のガイダンスノート」を参照。

⁽⁵⁷⁾ 要約: この光記録媒体は、一方の面に第1ピットを有する第1基板と、第1基板の第1ピットを有する面の上に、第1ピットの凹凸を反映して形成された第1反射層と、第1反射層の上に形成され、第1反射層と反対側の面に第2ピットを有する第2基板と、第2基板の第2ピットを有する面の上に、第2ピットの凸凹を反映して形成された第2反射層と、第2反射層の上に形成されたカバー層とを備える。第1反射層の凹凸の差である第1ピット深さは,と、信号再生用のレーザ光の波長 λ と、前記第2基板の屈折率 n_1 とは、 λ /($5n_1$) $\leq d_1 \leq \lambda$ /($3n_1$)、かつ、 $d_1 \neq \lambda$ /($4n_1$) の関係式を満たす。また、第2反射層の凹凸の差である第2ピット深さ d_2 と、信号再生用のレーザ光の波長 λ と、カバー層の屈折率 n_2 とは、 λ /($5n_2$) $\leq d_2 \leq \lambda$ /($3n_2$)、かつ、 $d_2 \neq \lambda$ /($4n_2$) の関係式を満たす。